平成28年





vol.17

こらぼと地域で学び・発見・つながる P2-3 身近なところに地域力あり P4 そうだカフェをつくろう P5 こらぼの木に名札をかけよう P6

配食活動グループおすすめメニュー P6 団体組織レベルアップ講座 P7 掲示板 こらぼ de アート 他イベント裏面 P8









写真撮影:山崎 泰正さん

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新しき年を迎えられたこととお慶び申し上げます。 こらぼ大森も多くの皆様に守られ育てられ13年目を迎え、ますます充実したこらぼを目指してまいります。

今、日本は世界にも類をみない超高齢化の時を迎えています。そんな時代背景や要望も受け、こらぼ大森で は元気に高齢を楽しもうとの想いを込めて、月一度の健康講座を実施し、大盛況です。そして、地域の方々(六 町会)・子ども交流センター・NPO団体・本冊子表紙写真の絵手紙折り紙教室などの講座にご参加頂く皆様な ど大勢の方々で、こらぼ大森は毎日にぎやかです。今年度はさらに天然芝の活用や体育館の活用など智慧と創 造力を結集し魅力的で楽しいこらぼ大森を作ってまいります。

どうか平和で幸多き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

こらぼ大森 理事長 齋藤 十四男

大森西2丁目在住田中美帆さん(澤田東町会澤田睦)



獅子舞をやりたい」

「地元の町会ではお祭りの時などお囃子や獅 子舞をしています。町会の人たちが協力して 下さり、山車まで用意して下さっています。今 ではその山車の上でお囃子もでますし本当によ かったです」「高校3年生のとき私が『獅子舞 をやってみたい!』と父や近所の方に相談した ところ教えてもらえる事になりました。それ以 来ずっと続けています」とのこと。「獅子舞は 獅子頭も重く力がいるので男の人が多いのです が、たまたま他で見た獅子舞がとっても迫力が あって『かっこいい』と思ったことがきっかけ です」「獅子舞やお祭りにかかわってきて色々 な事を学びました。お祭りの時は他の地域の人 達とも一緒になりますが、そういう時にきちん と挨拶できるこ事はとても大切だと思いますし 大森澤田東町会では田中美帆さんが獅子舞を始 めるまで数十年間、獅子舞が途絶えていたとの こと。今使っている大きな獅子の頭も昔澤田東 町会で使っていた貴重品です。

美帆さんはこらぼ大森の前身である旧大森第六 小学校の最後の卒業生でもあります。その美帆 さんから「地域だけじゃなくてこらぼや学校で も声をかけてくれたらできる限りお囃子や獅子 舞などで出かけていきます」と話してくれました。若い世代が地域の伝統を受け継いでいって くれることは本当にうれしいです。

清水さんが EDO 会に参加されたきっかけは、 偶然見た EDO 会のチラシだそうです。長く山 登りやスポーツ等に親しんできた清水さんが、 定年退職後、今度は英会話でもやってみようか 思っていたところ「会話の英語を話そうとする と思うように言葉が出てこないんです。ずっと 学校でも英語を勉強してきたのに『これはどう してなのか?』ということも日頃感じていまし た。」そうして、初めは軽い気持ちで参加して みた EDO 会は「日本語で気楽に質問もできる し色々な人と話も出来るしとても楽しかったん です」

昨年の夏は、こらぼ大森夏まつりで子どもたち 向けのコーナーを担当して下さいました。

「自分もいつかどこかで地域とつながれたらと思っていました。実行委員会に参加してみて、皆さんとても一生懸命なので驚きました。特に子どもたちを大事にしていますよね。感心しました」

「次の東京オリンピックの時には、外国から来られた方に自分の方から声をかけて少しでも英語で話すことができるよになったらいいなあって思っています。地域でも何かつながりのあることをしていきたいですね」「いろいろな地域に EDO 会ができて、これからやさしい英会話をみんなが身近にできるようになると嬉しいですね。だから EDO 会は地域の中でつながりをもってずっと続いてほしいです」と笑顔で話し

英会話同好会 in OTA (通称:EDO 会)に参加者

「とても楽しかったんです」

こらぼ大森の行事に、ボランティアとして参加 してくれた大森学園高等学校1年生の小島綾花 さんと笠井彩花さんに、参加した感想をお聞き しました。

「ポレポレエコ祭りで小学生がカップケーキを作るのを手伝ってあげました。初め子どもたちにどんなふうに声をかけていいか困りました。でも交流センターの先生がサポートしてくれて、打ち解けた雰囲気ができてすんなり入っていけました」(小島さん)

「低学年の子たちがおつりの計算を苦労していたので、手伝ってあげました。地元のお祭りだと顔見知りですが、ポレポレ祭りは知らない人ばかりで、コミュニケーションをとるのが大変でした。夏まつりでは小島さんと舞台の司会をしました。アドリブでやる部分が多いので苦労しました。」(笠井さん)

お二人とも高校に入学した時から、自然な感じ でボランティア活動に参加して、生徒会の仕事 やサークル活動もしているそうです。

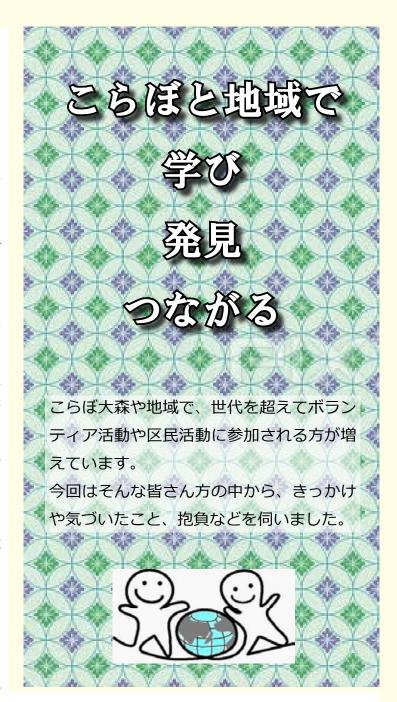
「地域のボランティアに参加していろんな知り合いが増えたことがよかったです」(小島さん)「日ごろ経験できないことを実際にできてよかったと思います。こらぼ大森は、たくさんの人が集まっているのにどうして廃校になっちゃったのかなあって、ちょっと不思議でした」(笠井さん)

最後に、進学を目指しているお2人に抱負をお 聞きしました。

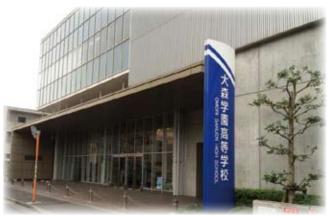
「人との付き合いやふれあいは大事だと思うのでこれからも勉強と合わせてボランティアにも参加していきたい」(笠井さん)。

「勉強との両立には結構苦労しますが、自分の 趣味も大事にしたいです」(小島さん)

勉強やボランティア活動に、未来に向かって大きく羽ばたいてほしいですね。



「生徒会やサークル活動、 そしてボランティアも」



こらぼ大森の行事に協力してくださる 大森学園高等学校

大森消防団第二分団 分団長 木村 進治さん

身近なところに地域のあり

こんにちは、消防団の概要を説明します。

大田区内には大森、蒲田、矢口、田園 調布の4消防団があり、大森消防団は8 つの分団で構成されています。

第二分団の受持ちは大森本町二丁目、 大森東一丁目、大森北六丁目、大森西一 丁目から七丁目まで東西に国道 15号、南 北に環状 7号に分断されている地域です。 第二分団は可搬ポンプ 3台、こらぼ大森 内の分団本部、都掘公園、山谷出張所内 にそれぞれ配備しています。

現在の団員数は43名(定員39名)の 内女性団員は8名在籍しています。特に 女性団員の活躍が素晴らしく、毎月実施 している応急救護の勉強会の出席率も高 く、普及員の資格もとり、普通救命講習 の講師にも出動しています。又、毎年行 われる消防操法大会で今年度は1番員(筒 先を持って放水する)を担当して注目を 浴びました。近年、消防団に入る方も少 なく女性だから無理だと固定概念を持た ずに活躍の場を広げています。

消防団の活動は災害時には消防署と連携しての支援活動、各町会・自治会で行う防災訓練の支援、市民消火隊の訓練指導、歳末特別警戒等々です。特に市民消火隊の訓練を通じて消火隊員とのコミュニケーションを深めて災害が起きた時に意思疎通をスムーズにできるように注意して訓練に参加しています。

又、受持ち地域の町会・自治会のみな さんは防災意識がとても強く市民消火隊 とも協力して災害に強い街づくりに励ん でいます。

消防活動以外では団員間の親睦を深める目的でお花見会、バーベキュー会、バス旅行等々を行っています。



4



講座を終えて

N P O 法人 大森まちづくりカフェ 町田 あゆみ さん

同じような環境でも「いつも賑やか」なところもあれば「なかなか人が集まらない」場所もある。人が集まるコツってなんだろう?心地よい場所ってどんなところだろう?家も地域も職場も学校も・・・まちには人の集まる空間が沢山ある。心地よい居場所にはどうやらコツがあるらしい。そんなコツを知るために、第1回目は「みんなが楽しむしくみのコツ」第2回目は「心地よい空間のコツ」第3回目は「スムーズな人間関係のコツ」を達人から学んだ。

定員を上回る申し込みではあったが、 誰もが参加を心から望まれる方ばかり だった。元教室だった情報交流室IIの空 間は毎回学校の教室さながらに人でいっ ぱいだった。3回の参加者は延人数で 100 人近かった。家庭を心地よくしたいという方から、地域で様々な活動をしている方、事業経営者等それぞれ状況は異なっていたからこその難しさもあったが、講座内のワークショップで学校支援コーディネーターと NPO 職員が自然と繋がったり、講座後に相談を受け専門の相談機関を紹介するなど、なかなか出逢うことのできない人同士が繋がることのできる良い機会ともなった。

今後は、3月にこらぼ大森主催の「こらぼ de アート」、当団体 NPO 法人大森まちづくりカフェ企画の「大森アートフェスタ」とも連動させ、地域で身近にアートを感じる仕組みを企画・開催。

また新たな出会いの場を創生する予定 である。

> みんなが心地よい居場所づくり そうだ!カフェを作ろう

11月6日(金)・16日(月)・30日(月)

催: NPO法人 大森まちづくりカフェ



お茶がのめる絵本の店ティール・グリーン in シード・ヴィレッジ店主 種村由美子さん



滋賀県立大学准教授 鵜飼 修さん



岩瀬まさこ社会保険労務士事務所 代表 岩瀬昌子さん



イベントを実施しました。工作編8月18日/樹木編11月28日

こらぼの木に名札をかけよう!

いろいろ教わりました

阿部先生から葉っぱの



ご参加いただいた地域の皆様と

(工作編 15 名、樹木編 15 名) ご協力いただいた団体の皆様との

がこらぼの木にかかりました!









参加者の皆様が1人1枚 木の名前を塗りました♪



見つけ、そして、みんな で協力してかけました!



上田先生から木の成り立ち、 板のかけ方を教わりました。



木の調査。61 種確認。

全 催:NPO強人大家コラポレーション ご協力:NPO法人大田・花とみどりのまちづくり 子ども変流センター

原っぱの会

NPの絵人ゆうえふ

こらぼ大森 国芸ポランティア

〈サポートぱんぷきん〉 重松さん メッセージ

身体を温める食材を使って、きんぴ らごぼうの要領で煮汁が無くなるまで 炒り煮にします。余っている蓮、タケ ノコ、椎茸等があればそれもかえてみ てください。

この一連の作業を丁寧にこなすのは 寒い季節ならではの私の健康法です。

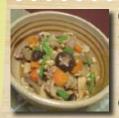
こらぼ大森 配食活動 グループのおすすめメニュー

大豆たっぷり鶏ごぼう

材料(4人前)

鶏もも肉1枚(さいの目にカット)、 ごぼう1本(小さめ乱切り)、人参 1/3 本(乱切り)、 大豆水煮缶1(110g)、ごま油大さじ1、 合わせ調味料(だし汁1カップ、しょうゆ大さじ2、 みりん大さじ2、酒大さじ1、砂糖大さじ1/2)

作り方



①鍋にごま油をひき、熱したら鶏を炒 める。②鶏肉の表面の色が変わった らごぼうと人参を加え、全体に油が 回ったら合わせ調味料を加えてひと 煮たちしたところで 大豆を加えます。 ③全体を混ぜてそのまま強火で煮汁 が無くなるまで炒り煮にします。

回 日時 内部 **1** 10/7 (水) スキ 14:00~ パラ 16:00 [5]

自 10/10 (土) 主 10:00~ 的 15:00 (予定)

2 11/4 (水) 14:00~ 16:00

3 12/2 (水) 14:00~ 16:00 内容 [講師] スキル・ワークショップ パフォーマンスの高い組織作り [五井渕 利明]

見学

(場所:大田区役所2F会議室) 実際の助成金審査「公開プレゼン テーション」を見学します。

スキル

事業の具体化と予算の見える化 [新居 彩子]

所店 米

発表 模擬申請書審査とプレゼンテーション、 相互審査 「五井渕 利明、新居 彩子]

区民活動に携わる人の持つ悩みの内容は、お金とメンバーのモチベーションについてが多いものです。お困り事をかかえた区民活動団体を応援することが、こらぼ大森の大切な役割のひとつです。

10月から3ヶ月にわたり、その悩み解決の一助となるべく「実践力がしっかり身につく!団体組織レベルアップ講座」を実施いたしました。助成金に挑戦したい、団体内でみんながもっとイキイキするためにはどうしたらいいのだろうか、個々に課題を持った参加者の皆さんの受講姿勢はやる気のかたまり!

講師の方の話を前のめりで聴講していました。

講師を務めて頂いたのは、NPO 法人 CR ファクトリーの五井渕氏と協働サポートオフィス有限責任事業組合の新居氏の お二方です。

お二人の講義は参加者のまさに「知りたいこと」であり、いただいたアドバイスは団体を成長させるための「処方箋」になったことと思います。

特に、参加者による模擬助成金申請書作成とプレゼンでは、具体的かつ実践的なアドバイスを受けることができました。自分たちの団体を客観的に見る機会となり、その強みと弱みを見つめることにもなった講座でした。

参加者の皆さんの今後の活動に期待し、 全力で応援していきたいと思っています。

主 催:NPO法人大森コラボレーション

「多彩なご経歴から的確なアドバイスを頂きました。 こらぼ大森でも協働コーディネーターとしてご活躍でした。」



協働サポートオフィス有限責任事業組合 代表/新居 彩子 さんの講座風景



NPO法人 CRファクトリー 事業局長 / 五井渕 利明 さんの講座風景

「行政やNPO法人等での豊富なご経験から 幅広い知見とバランス感覚に定評があります。」

第2回 こらぼ de アート

と き: 2016年3月11日(金)~13日(日)

午前 10 時 ~ 午後 4 時 (13 日は午後 3 時 30 分 終了予定)

場所:こらぼ大森(多目的室、軽食ルーム、ふれあいコーナー、会議室)

テーマ: **アートでつながる人・地域・こらぼ**

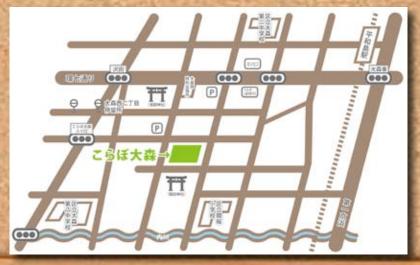
内容:絵画・書道・写真・イラスト等の創作作品と大森の町工場で製作されて

いる製品の展示・紹介を行います。

大森学園高等学校生徒の皆さんの展示と発表も予定。

主 催:NPO法人大森コラボレーション

イベント名	1月	2月	3月	会 場	主催団体	連 絡 先
ママのための コーチングサロン	15,19, 28	5.16. 25.26	10,11, 15	会議室	CSRコーチング	080-6785-5677 (福井)
大人の英会話交流会	12,26	9,23	8,22	会議室	英会話同好会 in OTA(略称:EDO会)	03-3729-3849
てらこやのこらぼ	毎週木曜日			会議室	子ども教育支援の会グループでらこや	03-6676-7837 (事務局団体:ゆうえふ)
保育付 やさしいパレエサロン	7,14.	4.11.	3.10.17.	多目的室等	日本スポーツ文化創造協議会	090-9134-6821 (新居)
いろいろスポーツ	10,31	7,21	6,13	体育館 又は グラウンド	日本スポーツ文化創造協議会	090-9134-6821 (新居)
会食会	16	_	5	軽食コーナー	食事サービス連絡会	03-3742-5507 (村山)
健康チェック	第3火曜日			いろいろルーム	城南保健生協	03-3762-0266 (阿部)
福祉エアロビクス	毎週土曜日の予定			子ども交流センター 音楽室 他	大森コラボレーション	03-5753-7884
健康講座	第3 木曜日			多目的室	大森コラボレーション	03-5753-7884
第2回こらぼdeアート	-	-	11~13	多目的室・ 会議室など	大森コラボレーション	03-5753-7884
絵手紙教室	第2土曜日			多目的室	あざみ会	03-3771-9655
折り紙教室	第3土曜日			多目的室	あざみ会	03-3771-9655
フラワーカーピング	19	-	-	情報交流室2	情報交流室2(おおたOrganbFarm)	03-3763-7314
水彩色鉛筆画教室	6	3	2	情報交流室2	情報交流室2(おおたO rganbFarm)	03-3763-7314
リリアンで作る アクセサリー	15	19	8.18	情報交流室2	情報交流室2(おおたO rganbFarm)	03-3763-7314
リフレクソロジー	26	23	22	情報交流室2	情報交流室2(おおたO reanbFarm)	03-3763-7314
どんど焼き	(周天中止)	12	-	グラウンド	子ども交流センター	03-5753-6801



MAP

発行者 齋藤十四男

発行日: 2016年1月1日

大田区区民活動支援施設大森 こらぼ大森

住 所:〒143-0015 大田区大森西 2-16-2

電 話: 03-5753-6616

URL: http://collabo-ohmori.com/